



VOL.4テーマ

地域で育む、こどもの笑顔

特集

そこは、みんなの劇場
自分でつくるって、素晴らしい!

連載 ゆめ・まち・みらい
インタビュー

宮城まり子さん

(女優・歌手・
「ねむの木村」運営)

阪急阪神ホールディングスグループ

おすすめ イベント 六甲ガーデンテラス「ホルティ」が大阪に!
フェアトレード商品出張販売会(2/4(木)・5(金)・8(月))

おすすめ イベント 書き損じハガキをあしなが育英会に
寄付しませんか?(1月25日(月)~2/8(月))

こどもを大きくするのはみんなのがんばりと ほんの少しのおとなの手助け

神戸おやこ劇場に参加した皆さん。活動を通して、こどもの成長ぶりに驚かされたとか。
こどもって、新しい世界を見たり、新しい仲間と知り合ったり、
小さなきっかけで大きく成長するものです。

三木 真理さん(母) 友太くん 涼花ちゃん
神戸垂水おやこ劇場所属

二人とも、小さい子の手助けが自然にできるようになりました。自分がこれまで先輩達にもらったことをしているのでしょう。また、たくさんのおとなと話ができるのも嬉しいようで、人とのコミュニケーションも活発になりましたね。



後藤 尚子さん(母) 春香ちゃん 柊平くん
神戸東おやこ劇場所属

春香は小さい子の面倒をみるのがうまくなりました。年齢の違うこども達と交流でき、いい経験になっていると思います。私にとっても親同士で色々な話が聞けるのがいいですね。先輩ママさん達のお話は、子育てのいいアドバイスになっています。



河合 経恵さん(母) 広禄くん 輝祉くん
神戸中央おやこ劇場所属

広禄は恥ずかしがりやで、集団行動は苦手だったのですが、ここにはすっかりなじんで、積極的に色々なイベントに参加しています。舞台鑑賞後はいつも演目に影響されて、今日も家に帰ったら、太鼓代わりにいろんなものをたたくんじゃないでしょうか。



社会貢献
ポイント制度とは

阪急阪神ホールディングスグループの従業員やOBの方のボランティア活動などを応援する制度です。
入会用紙は、ホームページからダウンロードもできます
その他、資料のご請求やお問合せは事務局まで。

阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト事務局

阪急阪神ホールディングス株式会社 人事総務部社会貢献担当
shakai@hankyu-hanshin.co.jp TEL: 06-6373-5086 FAX: 06-6373-5174
ホームページ <http://www.hankyu-hanshin.co.jp/yume-machi/>





来場者にチラシを渡すことも達



おとなだって楽しんでます!

そこは、みんなの劇場 自分でつくるって、素晴らしい!

特集

神戸おやこ劇場

舞台鑑賞やイベントを通して、
子ども達の豊かな感受性や創造性、
自主性を育む神戸おやこ劇場。
今回は和太鼓の舞台鑑賞会へ
おじゃまさせていただきました。

見るだけじゃない、
参加することが
こどもの成長に。

会場へ足を踏み入ると、「元気なこ
もの声。『今日は和太鼓のたまご子座さ
んによる、太鼓で遊ぼうドンカカカをみ
んなで見ます。公演中は...』」というや
らから始まる和太鼓公演会のあいさつの
練習のよう。そういえば会場の入り口で
チラシを渡してくれたのも、こども達で
した。今日の舞台鑑賞会をみんなで成
功させよう、そんな気持ちが伝わってき
ました。

いよいよ和太鼓の音と共に公演がス
タート。こども達は舞台上興味津々で、
「太鼓をたたきたい人、いるかな」の呼び
かけに、多くのこども達がハイッと手を
挙げました。恥ずかしがる子が意外と少

ないのに驚きです。
公演終了後、誰が声をかけたわけでも
ないのに、こども達は自然と会場のイス
や敷物を片付け始めました。なかには、
自分より小さい子の面倒をみることも
もちろはら。

おやこ劇場とは、舞台鑑賞などの文化
芸術や、キャンプなどの遊びの体験を通
して、おとなとこどもが共に育つ地域を
つくっていくという活動。こどもの自主
性・創造性を育むことを大切にしてお
り、神戸おやこ劇場でも企画運営にはこ
ども達自身が携わっています。神戸中央
おやこ劇場運営委員長の結城さんは「大
きい子がやることを見て、小さい子もお
手伝いするようになるんです。こうして
こどもが成長していくのを見るのが大き
な喜びですね。また、神戸おやこ劇場の
こどもは、演劇部やブラスバンド部に入
るなど、舞台や音楽に興味を持つ子が多

いですね。舞台鑑賞を通して、感受性も
培われているのでしょう。多感なこの時
期に、少しでも多くの経験をしてほしい
ですね」と話されました。

おとな達みんなで
こどもを育てる。

神戸おやこ劇場では、舞台鑑賞のほか
に、夏のキャンプやワークショップ、演芸
会などがあり、こども達のアイデアや意
見がそれぞれに反映されます。
「キャンプでは、こども達は2か月前から
準備を始めます。キャンプでつくる食事

のメニューを決めたり出し物の企画をし
たり。なかには班でお揃いのTシャツをつ
くるこども達もいますね。やりたいこと
を形にしていこううちに、楽しみながら自
主性が育っているのではないのでしょうか」
と結城さん。

一方これらのイベントには、親であるお
とな達の参加も欠かせません。時にはこ
ども達のアイデアを実現させるサポート
役に回ったり、困っていることもあれば
解決のヒントを与えたり。こどもにとつて
は、大勢のおとなと触れ合える貴重な機
会です。地域ぐるみの子育てが見直され
る中、神戸おやこ劇場はそういった役割
をも果たしているのではないのでしょうか。

神戸おやこ劇場

神戸東おやこ劇場、神戸中央おやこ劇場、神戸垂水おやこ劇場、
神戸須磨北おやこ劇場の4つのおやこ劇場で構成され、現在の
会員数は約650人。年に4回の舞台鑑賞のほか、各劇場で様々
な会を催しています。この他おやこ劇場は全国にありますので、お
子さんのいらっしゃる方はぜひ入会してみてください。
費用:一人につき、入会金:1000円/月会費1200円(劇場によ
って多少の差があり、垂水のみ月会費は1100円)。

問い合わせ先:神戸中央おやこ劇場
TEL 078-341-8069
URL <http://www16.ocn.ne.jp/~c-oyako/>

賛助会員としての参加も!

例えばお子様が大きくなった方でも、おやこ劇場に賛同・協
力したいという方は、賛助会員として参加できます。ご希望
の公演を年に1作品鑑賞できるほか、イベントなどへの参加
が可能。また毎月広報誌が届きます。年会費 5,000円
※賛助会員は神戸中央おやこ劇場のみの制度です。

こども達が楽しみにしている、
夏のキャンプ

和太鼓の公演中の様子

おとな達が先生役
工作の時間

お話を伺った
運営委員長の結城さん

グループ従業員の本棚をのぞいてみました。
今回は、こどもにまつわる本の紹介です。

今回のおすすめ人
阪急阪神
ホールディングス
人事総務部(社会貢献担当)
相良素子さん

町の中心は保育園!? 宮崎駿のカラーイラストエッセイは必見



虫眼とアニ眼

養老孟司、宮崎駿(著)
出版:新潮社 2008年2月発行 460円(税込)

著名な解剖学者の養老孟司と言わずと知れたアニメの大家の宮崎駿が、人や自然、こどもについて語った対談集。現代の教育や町に対する洞察と批判はするどく、耳がいたいこともしばしば。しかし、単なる悲観論ではなく、次世代への愛情が滲む会話の数々は、読後に前向きな気持ちになります。何より心に残るのは、宮崎駿が理想の町を描いたイラスト。美しく、懐かしく、こんな町に住みたい!と思うこと間違いなしです。

身体、ファッションから考える 10代に向けて書かれた哲学書



ちぐはぐな身体
—ファッションって何?

驚田清一(著)
出版:筑摩書房 2005年1月発行 630円(税込)

大学の哲学の先生が若者向けに書いた本—そう聞くと、説教くさくて面白味のない本を想像されるのではないのでしょうか。しかし、一度は誰もが悩んだことのある「自分」を「考える」ということを、平易な言葉で、なるほど、と解き明かしてくれる本です。哲学とはどこか遠い世界の話ではなく、ファッションも含めた自分や世界を捉える行為なのだということを感じさせてくれます。



ねむの木村にはこども達の実習場所「森の喫茶店MARIKO」「雑貨屋さん」や、「吉行淳之介文学館」、「ねむの木子供美術館」などがあり、健康な人や障がい者、高齢者、若者が共に暮らしています。

こどもの成長を全力で手伝うの。 それができる自分が幸せね。

人にやさしくできる人
になりたかった。

私が12歳の時に母が亡くなりました。私は母の匂いが残るたんすの中に顔を埋めて泣いたけど、まだ10歳だった弟は庭で一人で絵を描いていました。なかなか体中が泣いているようだった。その体が全身でふるえていて、私はやさしいことのできる人になろうと思いました。

その後歌手になって「ガード下の靴みがき」を歌った時、「こどもに夢がないのが辛い」という詞がとっても悲しくて…。私は何でも夢を持つちゃうからね。仕事を通してこどもに会う機会も多く、両親のいない子、障がいを持つ子、いろんな子に会いました。私、ほっといていいのかな、1人でも2人でもお手伝いできたらいいな、そう思っ、「ねむの木学園」をつくりました。以前から両親のいない子の施設はあったけど、その上に手足の障がいや併せ持つ子の施設はなかったの。そんな大変なことです。

る方もいなかったのねえ。私は、命と引き換えにやれるか、ずっと自分に問いかけて決めたの。全部自分のお金を出して、エイッとやっちゃった。そしてまだ続けているの。始めてしまったことへの責任がしら。

ねむの木村は
大きな家庭

ここでは職員を、「お兄さんお姉さん」と呼んでいます。大きな家庭なの。そして、学校ですからこども達は、絵や音楽、作文、工芸、茶道などを学んでいます。私は、こども達を必死で見守りてお手伝いして、ありったけでやってあげる。最初は真っ赤な絵を描いた子が次はどう描くのかしらと、変化を見る喜びがあるし、それをさせてもらえる私は幸せ。何日もかけて絵を仕上げることで、こどもは集中力を養っています。集中力がついてくると自立の可能性が芽生えます。ねむの木村の中に機織りの作品のお店を持ち、ここで暮らす

ながら働きに行ったり。自立できるようになったら理想的ね。

やさしいことは
つよいのよ

自分の持っている甘い場所を人に渡すこと、例えば電車で席を譲ることもボランティアなんですよ。譲った人が微笑んでくれたら、何かが動いて嬉しいし幸せじゃない。みんな一緒に何かすることもそうね。ねむの木村の芝刈りを、「さあみんなやりましょう」とやったら、芝生が嬉しいね。みんな同じことを思っているのが楽しいし、やさしい心はみんな持つていらつしゃるんじゃないかしら。これからの時代は、みんなやさしくなつて力を合わせることが大切ね。それはとてもつよい力になると思う。

Profile 宮城まり子 Miyagi Mariko

1927年生まれ。1955年「ガード下の靴みがき」で歌手としてデビュー。1968年日本最初の肢体不自由児療護施設「ねむの木学園」設立。現在、「ねむの木学園」で理事長・園長・校長としてこども達の生活を見、教育の現場に立ちながら、「ねむの木村」を運営。

女優・歌手・「ねむの木村」運営 宮城まり子さん

日本で最初の肢体不自由児療護施設「ねむの木学園」を設立され、現在は「ねむの木村」を運営。「だめな子なんかひとりもない」と考える宮城まり子さんに、こども達への思いを伺いました。



こ ち ら 事 務 局

明けましておめでとうございます。
今年も、社会貢献ポイント制度をよろしくお願いします。

主 催 イベント

六甲ガーデンテラス「ホルティ」が
大阪にやってきます!

1000円
(税別)
につき
5
ポイント

フェアトレード商品出張販売会

本誌でも毎回ご紹介のフェアトレード商品。「買い物を通じた社会貢献」のひとつとして、六甲ガーデンテラス「ホルティ」でのフェアトレード商品の購入には、金額に応じてポイントを差し上げています。今回、大阪3か所で開催。本誌6ページ掲載のチョコレートをはじめ豊富に品揃え。どうぞ手にとってご覧下さい。

- 第1回 日時: 2月4日(木)11:30~13:00
会場: 阪神電気鉄道本社ビル10Fホール
- 第2回 日時: 2月5日(金)11:30~13:00
会場: 阪急電鉄本社ビル1Fエコルテホール
- 第3回 日時: 2月8日(月)11:30~13:30
会場: 阪急交通社大阪ビルB1F会議室

ポイント申請方法: 領収書原紙を申請用紙に添付してご申請下さい。(メール・FAXによるご提出はできません。)当日、会場に申請用紙をご用意しますので、その場で申請できます。

主 催 イベント

書き損じハガキを集めて、
あしなが育英会に寄付しよう!

5
ポイント

回収期間: 1月25日(月)~2月8日(月)

前略、今年の年賀状の書き損じハガキ、よかったですあしなが育英会に寄付していただませんか。事務局がお待ちしております。親を亡くしたこども達にとってもよい一年が始まりますように。



- 回収場所: ①阪急電鉄本社ビル2F食堂
②阪神電気鉄道本社ビル10F食堂
③阪急交通社大阪ビル3F
④大阪新阪急ホテルB2F食堂
⑤ホテル阪急インターナショナル9F食堂
⑥フェアトレード商品出張販売会場(左コーナー参照)

回収箱には鍵を付け、個人情報保護には十分に留意いたしますが、なるべく個人情報は塗りつぶして入れてください。ポイント申請とあわせて事務局にお送りいただいても結構です。

寄 付 先: 「あしなが育英会」

病気や災害、自死(自殺)で親を亡くしたこども達を物心両面で支える民間非営利団体です。

活動結果: 次号でご報告

ポイント申請: 2月末日までに、ポイント制度のWEBまたは申請用紙により5ポイント付与。なお、期間中何回ご寄付いただいても、申請は一回限りです。

【お問合せは事務局へ】 メール shakai@hankyu-hanshin.co.jp TEL 06-6373-5086 FAX 06-6373-5174
ホームページ http://www.hankyu-hanshin.co.jp/yume-machi/

コース・マーケティング [Cause Marketing]

正式にはコース・リレーティッド・マーケティング。また社会問題解決型マーケティングとも。社会貢献とビジネスを両立したマーケティング活動のことで、例えば商品を買った、自動的に支払い代金の一部が寄付ができるといったもの。商品選びの際に、すこし気を配ることで、手軽に社会貢献ができます。



ゆめ・まち・みらい ショッピング

GOODS

六甲ガーデンテラス「ホルティ」より
おすすめのフェアトレード商品をご紹介します

What'sフェアトレード?

途上国の生産者が貧困から抜け出せるよう、公正な価格で取引した商品がフェアトレード商品です。途上国の自立や環境保全につながる国際協力のひとつです。

食べる人においしさを、つくる人にやさしさを贈るフェアトレード・チョコレート

甘く、幸せな気分になれるチョコレート。しかし、カカオ豆の生産国の現場では、児童労働や搾取などの悲しい問題も多くあります。このチョコレートの原料となるカカオ豆を届けてくれる団体の一つ、ボリビアの「エル・セイボ」では、60年代まで小規模農家の人々が流通手段を持たなかったため、仲買人に言われるままの値段で作物を売るしかありませんでした。そこで自力で作物を都市に運べるように共同でトラックを購入し、77年に協同組合を結成して民主的な運営が続けられています。たっぷりの愛情を込めてつくられたフェアトレード・チョコレートは、つくる人と食べる人、みんなの心を甘くハッピーにしてくれます。

フェアトレード・チョコレート(ピープルツリー)
(ビター・ミルク・ヘーゼルナッツ・オレンジ・ホワイトクリスピー・レーズン&カシューナッツ・シナモン・コーヒーの全8種類。)
各290円(税込)



©Claro Fair Trade

ポイントになります

「ホルティ」 HP <http://horti.rokkosan.com/> メール horti@rokkosan.com
専用注文書でFAXまたはメールから、もしくはお電話でご注文下さい(お申込電話・FAX ☎0120-894-886)

編集後記



新美 佳代
宮城まり子さんにお会いしました。まり子さんの両の掌はふっくらと大きく温かそうでした。子ども達をやさしく包み込み、守る、お母さんの手でした。



相良 素子
今回4pで本を紹介させていただいています。「子ども」というテーマは個人的に非常に難しく、本選びに難航しました。よろしければご覧下さい。



浦井 沙央里
「おとなみんなで子どもを育てる。」神戸おやこ劇場さんのように、そんな場所が阪急阪神沿線の地域いっぱい広がったらいなあと思いました。

活動レポート

グループ従業員の皆さんから寄せられた活動レポートをご紹介します

活動レポート

阪急不動産
松本 修さん



楽しむことが第一目的 六甲山をクリーンハイク。

「どうせ山に登るなら、みんなでゴミも拾っちゃおう」そんな気持ちで同僚達とクリーンハイクをしています。もともと六甲山系には個人的にもよく登っていて、落ちているゴミが気になり、いつしか「入山前より下山後の方がゴミを多く持って降りる」が登山時のモットーになっていたんです。「私が山に登った後、ゴミが一つでも減っていればいいな」と、あまり気負わずやっています。クリーンハイクも、まずは山を楽しむことが第一目的。みんなでワイワイ六甲山を歩きながらゴミを拾い、その後は有馬温泉でのんびりお湯に入るのがいつものコース。誰もが楽しく歩けるよう、初心者向けのコースを設定しています。参加者からは、メタボ解消やストレス発散になると喜んでもらえ、こちらも嬉しいですね。今では他部署からも参加があり、活動を通して職場でのお互いの信頼感がより強まったように思います。皆さんの部署でも、クリーンハイクを実施されてはいかがですか? 自然の中を歩くのは、気持ちがいいですよ!



山道でイノシシに出会ったりと、楽しいハブニングも! 六甲山の自然が、とても豊かなことに気付かされます。

活動レポート

阪急阪神ホテルズ
小川 清尚さん



まずは皆さんに知ってほしい 精神障がい者の自立支援。

2年ほど前から精神障がい者福祉施設が運営するカフェをお手伝いしています。障がいを持つ方が自立を目指してカフェで働くのをサポートするのです。お手伝いといえながら、ここへ来ると心が安らぐんです。同じ想いを持った方々の場だということもありますし、障がいを持った方々がとてもやさしい気持ちで私達と接して下さい。その気持ちが心に沁みて、私の方で癒されます。実はこの活動を始めるまでは会社一辺倒の生活で、地域活動なんかも全く参加しなかったんです。でもこの活動を通して、支え合うことの大切さに気が付きました。それに新たな交流が増えたことで、ぐんと世界観が広がりましたね。これは私の人生にとって大きく大切な変化だと感じています。ところで皆さん、シルバーリボンをご存知ですか。精神・知的障がいや認知症など脳に起因する障がいや病気を持つ人への理解促進のための運動です。関心を持たれた方は是非ご参加を。バッジをつけるだけでも啓発活動への協力になりますよ。



その他カフェやイベントで販売するお菓子をみんなでつくり、これを運営資金にあてています。ご協力いただければ幸いです。
<http://kurinoki-welfare.jp/cafe/marron.html>

